

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日 時：令和3年3月2日（火）9：00～9：45

3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

大島安全規制管理官（研究炉等審査担当）、来住補佐、小多係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 奥田部長 他3名

敦賀廃止措置実証本部 竹内副本部長 他2名

5. 要 旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、もんじゅ総合防災訓練における課題と今後の対応方針について説明があった。

規制庁からは以下の点を指摘した。

- ・訓練に参加した印象として、訓練の想定がかなり実践的である一方、コロナによる人員の制限もあり、対応が後手に回った点が見受けられた。訓練の課題と改善点について、規制庁の訓練担当者ともよく相談して欲しい。また、要素訓練による対応者の能力強化が重要。引き続きしっかりと対応して欲しい。
- ・緊急時活動レベル（EAL）の判断根拠等が、JAEAの全ての施設の現状に照らし合わせて適切であるかを確認することが重要。また、必要に応じて見直しを検討して欲しい。

これらに対し、機構からは了解した旨回答があった。

6. 配布資料

資料 令和2年度もんじゅ総合防災訓練における課題と今後の対応方針